

あなたの看護が
きっと見つかる



医療法人 桜十字

桜十字病院

看護師募集案内

回復期リハビリテーション病棟

地域包括ケア病棟

障害者施設等一般病棟

緩和ケア病棟

特殊疾患病棟

医療療養病棟（在宅復帰強化型）





病院理念

桜十字に関わる全ての人々が幸せとなるモデルを全国へ
～ Happy Spiral ～

医療・福祉・予防医療を通じて

「患者さま」「地域の方々」「職員」

三者すべてが幸せとなるモデルを築き全国に情報発信を行い、
日本全土の地域医療の向上を目指す。

看護部理念

私達、桜十字看護部は

患者さまの生命と尊厳および権利を尊重し

患者さまの立場に立った看護・介護を提供します。

あなたの看護がきっと見つかる

630 床の大きな病院の中には多くの病棟があります。回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、障害者施設等一般病棟、緩和ケア病棟、特殊疾患病棟、医療療養病棟（在宅復帰強化型）など——あなたの目指す「看護」がきっと見つかる病院です。

総病床数 630 床

回復期リハビリテーション病棟 60 床 /13 対 1

地域包括ケア病棟 45 床 /13 対 1

障害者施設等一般病棟 163 床 /10 対 1

緩和ケア病棟 25 床 /7 対 1

特殊疾患病棟 60 床 /10 対 1

医療療養病棟（在宅復帰強化型）277 床 /20 対 1

施設の特徴

在宅療養後方支援病院

脳卒中リハビリセンター

呼吸器センター

血液浄化センター

リハビリテーションセンター

- 心大血管疾患リハビリテーション
- 脳血管疾患等リハビリテーション
- 運動器リハビリテーション
- 呼吸器リハビリテーション

目次



看護部長 ごあいさつ
02



病棟紹介
03-04



ヒューマンティケア
05-06



口から食べるプロジェクト
07-08



転職者にインタビュー
09-10



教育・キャリアアップ
11



1 日の仕事の流れ
12



福利厚生
13



グループ概要
14



看護部長 2023 ごあいさつ



井手 美智子 看護部長
熊本赤十字病院
桜十字病院

ハッピースパイラル ～HAPPY SPIRAL～

患者さま・地域の方々そして私たち職員三者すべてが幸せとなるモデルを築き上昇拡大していく様子を表現しています。私たちはこの言葉にあるように桜十字に関わるすべての人たちが幸せを感じられるような場所を作っていきたいと思っています。当院は急性期病院を退院される患者さまの在宅復帰をサポートしたいと様々な機能を持った病棟を併せ持つケアミックス病院です。630床の大きな病院の中には多くの病棟があります。入院対象者は高齢の方がほとんどですが、このような患者さまに対して、在宅復帰に向け生活機能の低下を防ぎ、拘縮の改善を図る生活行動回復技術（ヒューマンティケア）や口から食べるプロジェクトに取り組み、安全安楽な看護を提供できるよう努力しています。また当院では中途採用の看護師も沢山働いています。あなたのやりたい看護がきっと見つかると思います。私たちと一緒に目指す看護を実践しましょう。



まだ経験したことがないことがたくさんある

桜十字病院で勤務し始めて1ヶ月経過した頃、國學院大學勤務されている柴田保之教授の筆談（ペンや鉛筆を持った重度障害者の手に手を添えて、文字を書くのを支える方法）の実践の場を見学させていただきました。その光景は今まで私が考えていた筆談ではなく、筆談と思えないほどのスピードで患者さまとの会話が行われました。患者さま自身も”どうしてこんなに早く文字が書けるのですか”と不思議がるほどでした。世の中には経験したことのない事や自分が知らないことがたくさんあると実感しました。そして桜十字病院のヒューマンティケアのおかげで驚くような実践を見学できるのだと感謝しました。

まだまだ桜十字病院にはおもしろい事がたくさんあるようです。どうぞよろしくをお願いします。





病棟紹介 03-04

当院は急性期病院を退院される患者さまの在宅復帰をサポートしたいと様々な病棟の機能を併せ持つケアミックス型病院です。在宅復帰に向け、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、在宅復帰強化型の病棟を設置し、これをバックアップするべく「口から食べるプロジェクト」やリハビリの強化に取り組んでいます。



回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ医学的、社会的、心理的なサポートが必要な患者さまに対して、多くの専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

【2017年に「脳卒中リハビリセンター」を開設】

当病棟の入院患者の約7割が脳血管疾患であり、後方支援病院として県内唯一、4名の脳神経外科専門医が在籍しています。「回復期リハビリテーション病棟入院料I」「体制強化加算I」の施設基準を取得しており、復職支援や自動車運転再開支援の取り組みにも力を入れ、手厚いリハビリ体制が整っています。

- 約700㎡の大規模リハビリテーション室。
 - 200名のリハスタッフが在籍。(2023年2月現在)
- (理学療法士106名、作業療法士57名、言語聴覚士31名、歯科衛生士6名)



地域包括ケア病棟

急性期医療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまに対し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。また、在宅療養中の患者さまに入院が必要となったとき、在宅医から依頼を受けて支援いたします。「在宅復帰支援計画」に基づき、主治医、看護師、専従リハビリテーションスタッフ、MSW（医療ソーシャルワーカー）、管理栄養士などが協力して効率的に患者さまのリハビリや在宅復帰支援（相談・準備）を行っていきます。

【在宅復帰を積極的に支援します】

- 急性期治療が終わった直後の患者さまの受け入れをしています。
- ご自宅での生活に合わせた積極的なリハビリを実施します。
- 診療所からのご紹介により、いざというときの緊急入院が可能です。



障害者施設等一般病棟

障害者施設等一般病棟は、神経難病や何らかの疾患などで重度の肢体不自由、意識障害となられた方が主な入院対象となりますが、人工呼吸器管理を必要とされる方など、さまざまな病態の患者さまが療養されています。そのため、医師や看護師などスタッフが手厚く配置されています。

当院では平均 30 台の人工呼吸器が稼働しており、そのうち約半数が呼吸器病棟に集中しています。人工呼吸器離脱に関しては常に 60% 超の高い離脱率をキープしています。

なぜ高い離脱率を達成
できているのか？
その秘密に迫ります！



緩和ケア病棟

緩和ケアは、がんと闘う患者さまを支え、自分らしく生きるお手伝いをするケアです。体と心、置かれた状況や人間関係、様々なところに現れた「つらさ」を我慢する必要はありません。がんによるあらゆる「つらさ」を、緩和ケアで和らげます。

患者さまの思いのために
ここに寄り添って
サポートしてまいります。



特殊疾患病棟

脊椎損傷など、重度の障害をお持ちの方が安心して長期入院治療を受けることが出来る病棟です。病態的には安定している患者さまが多い病棟です。



医療療養病棟（在宅復帰強化型）

慢性期医療を必要とされる患者さまがより良い療養生活を送れるよう、「医療」「環境」の両面でサポートしております。長期の療養にあつた充実した環境を備え、様々なイベント企画など、心から喜んでいただけるよう取り組んでいます。



ヒューマニティケア 05-06



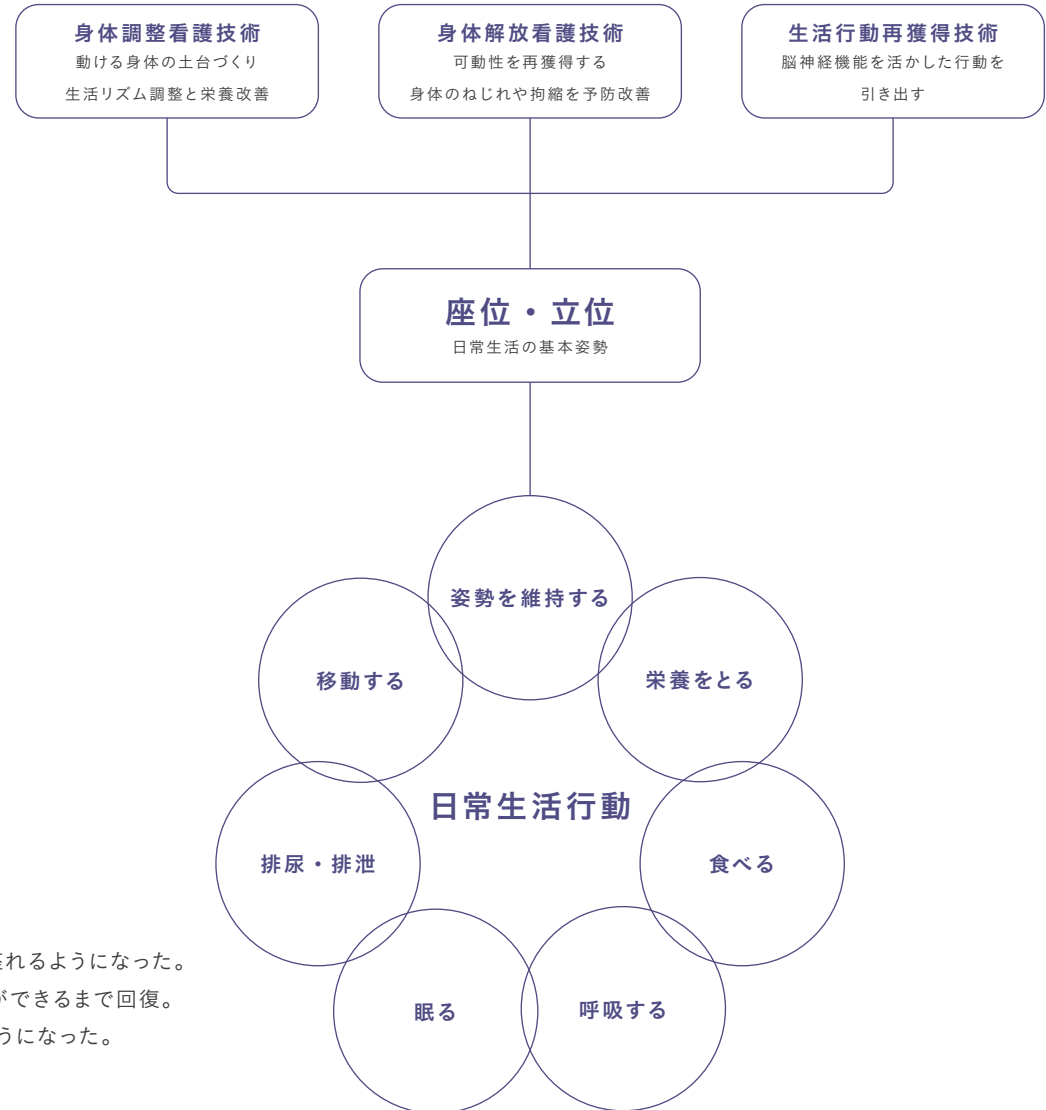
ヒューマニティケアとは

桜十字病院看護部では「生きるを満たす生活支援」を重点目標に掲げ、2020年より日本ヒューマン・ナーシング研究学会が推進している NICD 看護技術（生活行動回復看護）を取り入れたケアを行っています。この取り組みは、あらゆる患者さまの人間らしさ、その人らしさを取り戻す自立支援型の看護、介護でありたいという思いから「ヒューマニティケア」と名づけました。2025年には当院のすべての看護師がヒューマニティケアを実践できることを目指しています。

【ヒューマニティケアは生活行動を拡大する効果が期待されます】

- 2年間の寝たきりだった患者さまが、拘縮改善と端座位訓練により、車椅子に座れるようになった。
- 寝たきりの患者さまの尖足（拘縮がかなり進んだ状態）改善により、歩行訓練ができるまで回復。
- 全介助だった寝たきりの患者さまが、移乗動作訓練によりトイレで排泄できるようになった。
- 根気強い口腔ケアにより、患者さまが笑顔を取り戻した。
- 離床と腸ぜん動の促進により、下剤が不要になり自然排便できるようになった。

3つのコア技術



参考文献 / 「意識障害・寝たきり（廃用症候群）患者への生活行動回復看護技術 NICD 教本」
編著：日本ヒューマン・ナーシング研究学会 メディカ出版

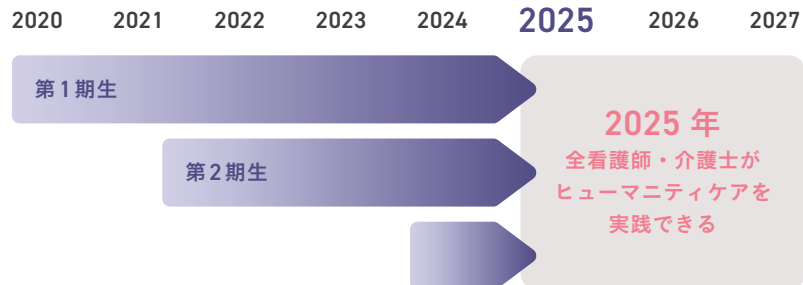


紙屋先生のセミナーにより、病院全体で知識を深める

桜十字の非常勤講師であり、NICD を考案した筑波大学名誉教授（医学博士）の紙屋 克子先生による生活行動回復看護技術（ヒューマンティケア）の導入・普及のためのセミナーを行っております。

全ての看護師・介護士がヒューマンティケアを習得

当院の目標は、2025 年までに全ての看護師・介護士がヒューマンティケアを習得し、患者さまにケアを提供できることです。そのために、2020 年よりスタッフ教育のコアとなるスタッフの育成をスタートしました。



慢性期の看護観が変わる

慢性期看護では、安静・安楽が第一とされています。患者さまの小さな異変を見逃さず、異常やその兆候があればすぐに対処することで悪化を防ぎ、褥瘡予防、拘縮予防、体位変換、清拭、口腔ケア…と、現状維持のための細やかなケアが行われてきました。しかし、ヒューマンティケアでは、さらに回復を目指します。日々のケアに NICD を用いることで「回復」に向けて取り組めるようになります。例えば「尖足」という状態。すねからふくらはぎの筋肉からアキレス腱の筋肉に拘縮が生じた結果、つま先立ちのような足のかたちになっており、地に足をつけて座ることができません。しかし、尖足の患者さまに NICD を実践したことで、歩行訓練ができるまで回復し、寝たきりから車椅子の生活に回復した患者さまの例が当院はあります。



日本ヒューマン・ナーシング研究学会のセミナー内での実技研修に加え、当院の理学療法士等専門職もナーシングバイオメカニクスや呼吸介助などの専門分野をレクチャー。



エキスパート生としての学びの締めくくりとして、実践報告を実施。1～2 か月間取り組んできた NICD の実践例を報告します。



口から食べるプロジェクト 07-08

NST Nutrition Support Team
桜十字



口から食べるプロジェクト（クチタベ）

口から食べることは生命維持のための栄養、水分補給だけでなく本来の欲求に基づく行為です。精神面の安定にもつながり「生きる力」となります。当院では、患者さまに食べる喜びを取り戻していただくとともに、生活の質を向上したいという思いから、病院を挙げて活動しています。

【大きく分けて次の3つのステップでクチタベを実践しています】

- ① アセスメント期「どうすれば安全に食べられるか」を見つけていく段階。
- ② ステップアップ期「自分で」「普通食を食べられる」に近づけていく段階。
- ③ トレーニング期「ご自宅でも食べ続けられるように」定着させていく段階。



クチタベを実践して

入院当初は胃ろうから経管栄養を流して栄養補給を行っていた患者さまが徐々に食事形態を変えていき、今では普通食を毎食全量摂取できるまで回復されています。ご家族からは「まさかまた口からご飯が食べられるとは思っていませんでした。本当に感謝でいっぱいです。」という言葉をいただき嬉しかったです。



口から食べるプロジェクト / マネージングドクター
呼吸器内科医長 安田 広樹

経口摂取は難しいと判断された方でも、当院にて多職種でアプローチすることで口から食べる幸せを取り戻せたことが多くあります。嚥下障害には様々な要因があり、包括的に評価・治療を行うことで、口から食べるをあきらめない医療を目指しています。



口から食べるプロジェクト / ディレクターナース
KTSM 実技認定者 建山 幸

人を良くすると書いて「食」。口から食べるということは生命の源であり楽しみでもあります。「おいしい」「嬉しい」の笑顔が人を幸せにしてくれます。そんな笑顔を守るため、最後まで口から食べることをあきらめないサポートを行います。

より詳しく！
口から食べるプロジェクト



小山先生指導のもと、ケアの標準化と質の向上へ

NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」にも取り上げられた「NPO 法人 口から食べる幸せを守る会[®]」理事長の小山珠美先生は「口から食べる」の第一人者。当院では小山先生にお越しいただき、指導を受けて「クチャベ」を実践しています。また、KTSM（口から食べる幸せを守る会）セミナーにもたびたび参加し、知識と技術のアップデートに努めています。

勉強会

小山先生をはじめ、さまざまな分野で活躍する専門職の方を講師にお招きして、知識を広げ、深めるための勉強会を行っています。また、「口から食べる幸せを守る会」の全国大会での発表も行うなど、症例の研究にも力を入れています。

ラウンド

毎日接している患者さまも、少しの工夫で食べられるようになったり、劇的に変化することがあります。さまざまな症例での指導により、さまざまなケースでの着眼点や実地でしかわからない工夫などを吸収する機会となっています。

技術がなければ、「口から食べる」につながらない

食事介助に関わる全てのスタッフに「食事介助セミナー」を実施。食事介助に携わる職種向けに、実際の食事介助をロールプレイングしながらの実技セミナーを実施しており、看護師・介護士は100%のスタッフが研修を受けています。患者さまになりきり、いい介助・悪い介助を体験することで、患者さまにとって「食べやすい食事介助」を考えるきっかけとなり、質の向上につながります。栄養士や言語聴覚士に加え、入院の窓口となるソーシャルワーカーもこの研修を受けています。





転職者にインタビュー 09-10



入職 **3** 年目
20 代看護師

Q・桜十字に就職しようと思ったきっかけは？

A・在宅復帰のスキルを磨ける

元々看護学生の時から退院支援について興味がありました。在宅復帰に向けて力を入れている病院で患者さまを亜急性期～回復期・慢性期を経て自宅または施設へ戻るためのスキルを磨けるところが桜十字病院だと思ったので就職を決めました。

Q・実際に入ってみて良かったと思ったことは？

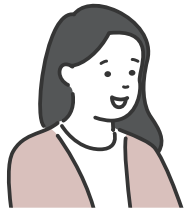
A・不安なく学びやすい

先輩方に相談しやすく、不安なく業務に取り組めることです。初めはなかなか相談ができず不安でいっぱいでしたが、先輩方が気にかけてくれて一つひとつ丁寧に教えて下さるので不安なく学びを増やすことが出来ました。

Q・入職して成長を感じられる点はどんなところですか？

A・アセスメント力が鍛えられた

私は病棟に所属していますが、本当に様々な状態で患者さまが入院してこられるのでアセスメント力は鍛えられたと思います。もちろん退院支援にも力を入れているので、在宅サービスの知識も増えました。



入職 **5** 年目
20 代看護師

A・患者さまに寄り添う姿勢

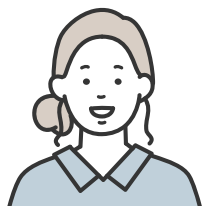
患者さまに寄り添う前向きな姿勢に共感しました。また、在宅復帰の道を閉ざさず、退院後の生活支援を行っているところも、やりがいを感じながら仕事ができる!と思いました。

A・原点を振り返ったケア

一般的な慢性期では、寝たきりになれば回復の見込みは薄く、褥瘡予防や肺炎予防を中心とした現状維持に腐心するケアを行っていました。しかし、本当に取り組まなくてはならないことは、人間の基本的欲求である“トイレで排せつする”とか“口から食べる”とか、人としての尊厳の部分なんですよね。そこを忘れずにケアに介入していく、改めて原点に戻って、何を大切にすべきか考えることができました。

A・慢性期の看護スキル

慢性期看護について成長できたと思います。病気を治すだけでなく、今後のその方の生活のためにどう関わったらいかを、多職種で考えることがやりがいです。疾患別ではないので全体を見ないといけないし、更にその患者さんの家庭環境や周りの環境すべてを含めて把握した上でゴールを設定しないといけないので、そこが慢性期看護の難しさであり、面白さだと思います。



入職 7 年目
30 代看護師

Q・桜十字に就職しようと思ったきっかけは？

A・今まで学べなかったことを学べる

以前は急性期病院で勤務していました。元々緩和ケアに興味があったこともあり、緩和ケアや人工呼吸器の取り扱いなど、今まで学べなかったことを学べるのではないかと思います。入職しました。

Q・実際に入ってみて良かったと思ったことは？

A・看護師の役割の重要性を再認識

急性期医療を終え、リハビリ目的や長期療養目的で転院してこられる患者さまが多くおられます。その中でも人工呼吸器を離脱し経口摂取へ移行していく患者さまの回復過程に関わる中で、看護師の役割の重要性を再認識でき、やりがいを感じる事ができたことです。

Q・入職して成長を感じられる点はどこですか？

A・患者さま主語

私自身が物事を消極的にとらえてしまう性格でしたが、院内でのマネジメントスキル研修に参加させて頂き、問題点や課題を患者さま主語に変換することで、〇〇できるようにするには、どうしたらいいのか？とポジティブにとらえることができることを学びました。今も迷ったら患者さま主語で物事を考えるようにしています。



入職 9 年目
40 代看護師

A・病院敷地内の託児所

病院の敷地内に託児所があり、何かあったらすぐに駆けつけることができる環境があると思ったのがきっかけです。同じ部署でもママさんナースがいるので、育児の相談ができるのが心強いです。

A・楽しく仕事ができる！

入職し、不安と緊張の連続でしたが、日々、プリセプターやスタッフの方々が気にかけてくれて頑張ることができています。スキルアップしたいことに目を向けてくれ、院外研修の参加も積極的にできます。スタッフ同士の関係も良好で、楽しく仕事できています。

A・頼られる存在でいること

入職して9年目になりますが、後輩から相談を受け、自分自身も物事を考えることができ、頼られる存在でいられるということが日々の成長につながっていると思います。これからも、ナースの一員として役割を果たし、頑張っていこうと思います。



教育・キャリアアップ 11

新しく入る職場は不安が沢山。そんな新人看護師を支えて成長を見守る教育制度が充実。プリセプターが付いて日常業務から疾患の学習、精神的なフォローと幅広くサポート。安心して成長できる環境です。

プリセプター



プリセプターを頼まれたとき、自分にできるのか不安でした。実際に質問されても上手く説明できなかったり、知識不足で答えられなかったりしたけれど、プリセプティと一緒に勉強し、互いに知識を深めることができました。新人の考えや看護観を聞いて、自分の知識を深めることができたため、とてもいい経験になりました。

プリセプティ



看護師として就職して、はじめは分からないことだらけでした。先輩方が一つひとつの看護技術に対して丁寧に指導して下さったおかげで、自分でできる看護技術が増えていくのを実感し嬉しく感じました。

これからも患者さまに寄り添った看護を提供できるよう日々の業務を頑張っていきたいと思えます。





仕事の流れ 12

勤務体制 /2 交代制

2 交代制の勤務は日勤と夜勤を組み合わせたシフトになり、夜勤明けと休みが組み合わさることが多く、「日勤→夜勤→明け→休み」というサイクルを繰り返すことが多いです。十分な睡眠時間が確保でき、連休も取りやすく、次の勤務までゆっくりと休めることがメリットです。

勤務時間

日勤 8:30 ~ 17:30

早出 7:30 ~ 16:30

遅出 10:00 ~ 19:00

夜勤 17:00 ~ 翌9:00

看護方式

桜十字病院では「チームナーシング」方式を取り入れています。1つの病棟を2つ以上のチームに分け、各チームリーダーのもと、チーム単位で一定の患者を受け持ち、看護ケアを提供します。ひとりではなく、チーム全体で患者さんやスタッフをフォローすることができるメリットがあります。

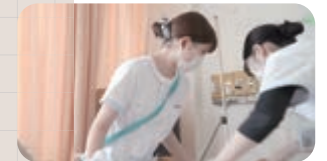
(一部病棟「機能別看護」方式)



看護師長 / 田島師長

「看護師の1日」

- 8:30 ● 業務開始!
- 9:00 ● 朝礼・チームカンファレンス
- 9:30 ● 患者さんのもとで症状や体調を確認
- 10:00 ● バイタル測定、点滴更新
- 12:00 ● 昼食
食事介助
- 12:30 ● 休憩
- 13:30 ● 昼礼・カンファレンス
- 15:00 ● 記録・処置
- 17:00 ● 申し送り
- 17:30 ● 終了!



桜十字 人事部
YouTube チャンネル
「新人看護師の1日」





福利厚生 13



社員食堂

毎日厨房で手づくりされている社員食堂のお昼ごはんは、デザートまでついて1食350円。熊本県産の素材をメインに使い、たくさんの料理がビュッフェ形式で提供されます。スタッフの健康を考えて、栄養たっぷりの食事をとることができます。



夜勤の制服

誰が日勤か夜勤か一目でわかるように制服が違います。そのため、日勤と夜勤の引継ぎがスムーズになり、残業防止につながっています。



社員旅行

頑張ってくれているスタッフを社員旅行にご招待。過去にはシンガポールや台湾などの海外や、京都などの国内旅行へ行きました。そしてなんと、旅行費は会社が全額負担！

Coming Soon...



サークル・スポーツ

フットサルやダンス、スポーツ応援など、仕事以外のサークル活動の楽しみもあります。違う現場で活躍しているスタッフ同士が仲良くなるきっかけにもなっています。桜十字がスポンサーを務めるロアッソ熊本、熊本ヴォルターズなど、プロスポーツの試合チケットを無料～社員割引で安く購入することができます。



表彰制度

院内学会、年間 MVP 賞、貢献社員への表彰など、桜十字には様々な表彰制度があります。



健康診断

桜十字ではスタッフに対して通常の健診だけでなく、女性スタッフには子宮頸がん・乳がん、34歳以下のスタッフには腹部エコー、35歳以上のスタッフには胸腹部CTや骨密度検査も行っております。また、オプションとして胃カメラや人間ドックも無償で受けることができます。

(2023年度実績)



制服

「患者さま満足」を軸としたプロとしてのサービスとおもてなしの心。これらを忘れずに、新たな時代と価値を築いてほしい。そして、そのサービスと心は全国に誇れる一流のものであってほしい。それに相応しい桜十字オリジナルデザインの制服です。



わんぱく保育園

病院の敷地内にあるスタッフ専用の保育園。0歳児から年中さんまで預けることができます。

この他にも、無料駐車場、通勤手当、団体保険、自動車購入時の割引など、様々な福利厚生が用意されています。



グループ概要 14



病院事業

- 桜十字病院 (630 床) / 熊本市
- 桜十字熊本東病院 (57 床) / 熊本市
- 桜十字八代病院 (74 床) 熊本県八代市
- 桜十字八代リハビリテーション病院 (199 床) / 熊本県八代市
- 桜十字熊本宇城病院 (257 床) / 熊本県宇城市
- 桜十字白金リハビリテーション病院 (68 床) / 東京都港区 **NEW**
- 桜十字福岡病院 (199 床) / 福岡市
- けご病院 (40 床) / 福岡市
- 花畑病院 (135 床) 福岡県久米市
- 原田病院 (101 床) / 福岡県糸島市
- 【介護老人保健施設】
- レ・ハビリス桜十字熊本東 (120 床) / 熊本市
- レ・ハビリス桜十字 (110 床) / 福岡市



予防医療事業

- メディメッセ熊本 / 熊本市
- 桜十字福岡病院 人間ドック・健診センター / 福岡市
- 桜十字博多駅健診クリニック / 福岡市
- 桜十字グランフロント大阪クリニック / 大阪市北区
- 城山ガーデン桜十字クリニック / 東京都港区
- 赤坂桜十字クリニック / 東京都港区
- 泉ガーデン桜十字クリニック / 東京都港区
- 恵比寿ガーデンプレイス桜十字クリニック / 東京都渋谷区
- 恵比寿桜十字クリニック / 東京都渋谷区
- 新宿桜十字クリニック / 東京都新宿区
- 上野御徒町桜十字クリニック / 東京都台東区



医療法人 桜十字
桜十字病院

メディメッセ 桜十字
KUMAMOTO

桜十字の新感覚リハビリジム
Let's JJJ!

ホスピタルメント



高齢者住宅事業

ホスピタルメント / 17 施設



不妊治療事業

桜十字ウィメンズクリニック渋谷 / 東京都渋谷区



海外事業

海外において日本の医療サービス提供、人材育成。

- Hospitalment in Taiwan / 台湾
- LPK MAHAYANA AKSELA / インドネシア
- Sakurajyujin Rojana Medical, Ltd. / タイ
- Nippon Medical Care Pet.Ltd. / シンガポール
- TDG-SG Global Academy(TSGA) / フィリピン



医療メディア事業

日本初の医学新聞「メディカルトリビューン」の発行。



在宅サービス事業

- 居宅介護支援 / 9 施設
- 訪問看護 / 7 施設
- 訪問リハビリ / 3 施設
- 訪問介護 / 7 施設
- 福祉器具販売・貸与 / 3 施設



フィットネス事業

Let's リハ! / 39 施設



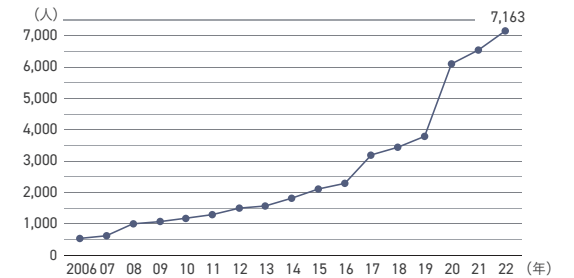
医療法人 桜十字は、熊本県より、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる「ブライツ企業」に認定されています。

【ブライツ企業の基本要件】

- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている

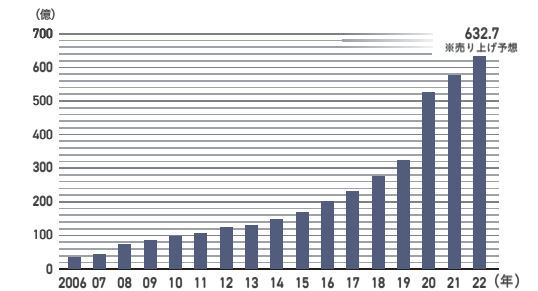
総社員数

(連結/単位:人)



売上高

(連結/単位:億円)



病院機能評価 2020.6.5 認定

慢性期病院として全国 1 位 S 評価を 9 個獲得

- 患者・家族の意見を聞き、質改善に活用している
- 患者・面会者の利便性・快適性に配慮している
- 療養生活の活性化を図り、自立支援に向けて取り組んでいる
- 栄養管理機能を適切に発揮している
- 栄養管理と食事指導を適切に行っている
- 職員にとって魅力ある職場となるよう努めている
- 地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている
- 業務の質改善に継続的に取り組んでいる
- 慢性期のリハビリテーション・ケアを適切に行っている

「病院機能評価」とは、病院の医療の質を第三者機関が評価する制度です。病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。



医療法人 桜十字 **桜十字病院**

〒861-4173

熊本県熊本市南区御幸木部1丁目1番1号

Tel : 096-378-1533

Mail : jinji@sakurajyuji.jp

受付時間 / 9:00 ~ 17:00 / 土・日・祝日除く



桜十字採用 HP
Instagram
YouTube
Twitter
Facebook